

(学校番号207)

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【南浦和中学校】

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<学習上の課題>昨年度市学習状況調査結果より、基礎的・基本的な知識・技能の習得状況が二極化しており、知識の概念的な理解に課題が見られた。 <指導上の課題>生徒が自らの学びを振り返る時間を確保できていない。	⇒ 授業中に生徒が自らの学びを振り返る時間を設定し、次の学びに生かせるようにする【単元ごとに設定】。また、スクールダッシュボードの「授業アンケート」を活用し、「つまづき」が多く見られる学習内容を重点的に指導・支援する。
思考・判断・表現	<学習上の課題>昨年度市学習状況調査結果より、主に国語と数学で「思考・判断・表現」に関する設問の無回答率が高かった。 <指導上の課題>学習課題に対する生徒の思考プロセスへの評価場面を設定しきれていない。	⇒ 「ミライシード」や「Teams」などを活用して、教師と生徒や生徒同士の思考の共有化を図り、データベースで学びの振り返りができるようにする。【R6年度さいたま市学習状況調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか?」の質問項目において、肯定的な回答の割合が80%以上】

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	R6年度全国学力・学習状況調査の「知識・技能」において、R5年度の自校の結果と比較し、国語-6.8pt、数学+7.6ptであった。国語の、文脈に即して漢字を正しく書く力に課題が見られた。ただし、国語の全国平均正答率は昨年度よりも-7.4ptとなっている。
思考・判断・表現	R6年度全国学力・学習状況調査の「思考・判断・表現」において、R5年度の自校の結果と比較し、国語-16.2pt、数学-11.1ptであった。数学の、統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見出し、数学的な表現を用いて説明する力に課題が見られた。ただし、国語の全国平均正答率は昨年度よりも-14.3pt、数学の全国平均正答率は昨年度よりも-12.3ptとなっている。

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	単元ごとに生徒が自らの学びを振り返る時間を設定する取り組みについては、多くの教科で実施することができた。ただし、スクールダッシュボードの「授業アンケート」の活用状況については課題がある。校内研修等で教員の理解を深めていく。	変更なし
思考・判断・表現	B	「ミライシード」や「Teams」などを活用して、教師と生徒や生徒同士の思考の共有化を図り、思考プロセスへの評価場面を確保する点については、校内研修や教代会等で実践例について研究し、授業改善に繋げることができた。	変更なし

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

⑤	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

※評価
 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)